



い  
れ  
る  
。  
い  
ま  
さ  
る  
。

良性発作性頭位めまい症	53%
突強性頭痛	16%
うつ状態	5%
前庭神経炎	4%
低血圧	4%
聴覚障害	2%
メニエール病	0.5%

よくめまい、危険なめまいは2%



毎週木曜日8時15分から開始の「木曜講義」。多診療科の医師やコメディカルの方をはじめ、事務方も講師となり、濃密な30分間の勉強会。  
楽しみにしていた研修医、受講して新たな発見ができた研修医、朝が弱く眠いという悩みを乗り越えながらでも自分のものにしていく研修医。  
それぞれの思いを取り入れて現場で生かすべく、来週もまた木曜講義がやってくる。  
頑張っているのは知っている。  
よく食べよく寝てよく遊ぶのが、びっぴの成長の目標。



Shohei Fujikawa  
[Juntendo University]

4月と10月の自分を比較して、成長したところはどこですか？

入職前は右も左も分からず2年目の先輩や後期（専攻医）の先生に頼る場面が多かったです。半年も経つと、他職種スタッフさんへの指示出しから処方や注射のオーダーまで自分で考えて動けるようになりました。まだまだ考察が足りない所や退院までの方針を立てる部分は未熟ですが、たしかに実力がついてきていることを実感しています。



Masaaki Ibe  
[Juntendo University]

河北総合病院で研修を開始して半年が経ちました。研修開始前と今の河北のイメージは変わりましたか？

かなりつらい勤務形態だと思っていたのですが、働き方改革の流れもあり、良心的な仕事量になっていっていると思います。また、予想以上に先生や同期たちとの関係性が良く、毎日楽しく働いています。科の間の垣根が低いことも聞いていたのですが、これほど低いとは思っていませんでした。というか、ないですね。



Yuki Sato  
[Saitama Medical University]

病院選びについて、注意事項等伝えたいこと。

当直体制や、働いている同期と先輩の研修医の仲の良さは、見るポイントだと思います。また、病院がある場所は実際に住む地域なので、自分が住めるかどうか、好きな街かどうかはとても大切です。休日や平日の夜を過ごすわけですから、QOLも考えることも大事なことですね。

✓ 初期臨床研修は河北総合病院で

「木曜講義」は毎週木曜日8:15-8:45に実施しています。医師やコメディカル以外にも、地域連携室や心のケアセンター等の職員も講師として登壇し、臨床の現場以外の学びも提供しています。アカデミックな要素が不足しており、何としても現場で成長したい人向けの研修病院と言われているカワキタ。今はアカデミックさで大病院や大学病院にかないませんが、足りない部分は補える範囲で頑張ります。カワキタらしさ、は失わず、でも変わるべきところは変えて行くことで、環境が良い方向に変化していくように。